

テイク・ディス・ワルツ (2011)

TAKE THIS WALTZ

メディア 映画

ジャンル ドラマ ロマン스

製作国 カナダ

色彩 Color

時間 116分

初公開日 2012/08/11

公開情報 ブロードメディア・スタジオ

映倫 R15+

【キャッチコピー】

しあわせに
鈍感なんじゃない。
さみしさに
敏感なだけ。

【解説】

長編映画監督デビュー作「アウェイ・フロム・ハー 君を想う」で高い評価を受けたサラ・ポーリーが、「ブルーバレンタイン」「マリリン 7日間の恋」のミシェル・ウィリアムズを主演に迎え、不倫を題材に女性の愛と欲望の葛藤を描くヒューマン・ドラマ。優しい夫がいながら、若い男性との情事に溺れるヒロインの揺れる心の機微を、過激な性愛描写とともに赤裸々かつ繊細に綴る。共演は「50/50 フィフティ・フィフティ」のセス・ローゲンとカナダ出身の若手ルーク・カービー。

フリーランスのライターをしているマーゴと料理本を執筆するルーは結婚5年目の仲むつまじい夫婦。子どものいない2人は今でも一見恋人時代と変わらなかったが、マーゴの中では漠然とした不安や物足りなさが募っていく。そんなある日、彼女は取材先で出会った好青年ダニエルに激しく惹かれてしまう。しかも帰宅してみると、偶然にも彼は向かいの住人だったことが判明し、次第に自分の感情が抑えがたくなっていくマーゴだったが…。

【クレジット】

監督	サラ・ポーリー	Sarah Polley	
製作	スーザン・キャヴァン	Susan Cavan	
	サラ・ポーリー	Sarah Polley	
脚本	サラ・ポーリー	Sarah Polley	
撮影	リュック・モンテペリエ	Luc Montpellier	
プロダクションデザイン	マシュー・デイヴィス	Matthew Davies	
衣装デザイン	リア・カールソン	Lea Carlson	
編集	クリストファー・ドナルドソン	Christopher Donaldson	
音楽	ジョナサン・ゴールドスミス	Jonathan Goldsmith	
音楽監修	ジョディ・コレオ	Jody Colero	
出演	ミシェル・ウィリアムズ	Michelle Williams	マーゴ
	セス・ローゲン	Seth Rogen	ルー
	ルーク・カービー	Luke Kirby	ダニエル
	サラ・シルヴァーマン	Sarah Silverman	ジェラルディン
	アロン・エイブラムス	Aaron Abrams	

ジェニファー・ポデムスキー	Jennifer Podemski
グレアム・アビー	Graham Abbey